

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
安部 敏樹	あべ としき	一般社団法人リディラバ/株式会社Ridilover	<p>■社会課題・地域課題をテーマとしたスタディツアーを企画しあらたな市場を開拓。</p> <p>■被災地での教育旅行をとした復興支援(例:釜石での被災後初の100人規模での教育旅行など)。</p> <p>■安倍首相が座長を務める観光立国推進会議での「アクションプログラム2015」として政策化。</p> <p>(11)国民の旅行振興に向けた意識醸成・環境整備”の項目において「若者に旅の意義や素晴らしさを伝える「若旅★授業」を地方で拡大するとともに、若者の関心が高い、エネルギーや地域医療など様々な社会テーマを扱ったツアー商品の造成を推進し、より多くの若者が旅に出るきっかけを創出する。【新規】という形で記載。</p> <p>■観光から移住定住・産業振興・事業承継・MICE誘致を一貫して実現(例えば林業のツアーを通して5人の事業承継・移住の実現など。これまで20人以上がツアーを通しての移住や2拠点居住を実現したと思われる)。</p> <p>■600人以上のボランティアマネジメントを通しての課題の洗い出し。</p> <p>■社会起業家の経営者向けカンファレンスR-SICを300人規模で3年連続開催。京都・つくばなどの地域開発に寄与。</p> <p>■東大の講義にて200人の学生に対し、ソーシャルビジネスのためのチームビルディングなど講義から30以上のプロジェクトを創出。講義をまとめた著作『いつかリーダーになる君たちへ』(日経BP)がAmazonで部門別1位を達成。</p> <p>■被災地の医療現場における鍼灸師などを含めた新たな医療チーム体制の構築と実施。</p> <p>■R-SICにおけるソーシャルビジネスのプログラム“CrossPoint”、観光庁研修、青森県研修、スタディツアーなどを通して100地域150社以上のインキュベーション支援。</p> <p>■述べ20校以上の教育旅行の実施。</p> <p>■スタディツアーなどの事業を通して扱うテーマは「農・林・水産業」「環境」「医療・介護・福祉」「貧困」「地域活性化」「公共事業」など200弱。</p> <p>■東証一部上場企業なども含め企業の幹部研修や人事研修としての地域課題・社会課題の現場での研修事例も10以上</p> <p>■アカデミックなアクティブラーニング、ファシリテーションの講義などを東京大学などの大学教員から各地の教育委員会や校長向けに実施</p> <p>【リディラバの事業に関連するURL】 [Travel The Problem:スタディツアー専門の旅行サービス] https://traveltheproblem.com/ [TRAPRO:社会問題の百科事典] http://www.trapro.jp/ [TRAPRO移住口コミ:地域の気になる口コミが集まるサイト] https://ju.trapro.jp/ [“社会起業”の最先端を知る]招待制カンファレンス:R-SIC(アール・シック)] http://ridilover.jp/R-SIC/ [リディラバ(HP)] http://ridilover.jp/</p>
生重 幸恵	いしくげ ゆきえ	特定非営利活動法人 スクール・アドバイス・ネットワーク	この法人は、「学校教育支援における地域活性化」を目的とする数少ない団体として、注目をされた活動を行なっている。出発時活動の中心は杉並区教育委員会との協働であり、杉並区とは現在も連携を持っている。また、平成15年からは、東京都内各区の教育委員会とも連携したり、さらには全国各地での「学校支援」「地域活性化」のプロジェクトに参画したりして、活動の範囲を広げている。一方、企業の教育支援活動の推進にも助力し、社員研修やフォーラムなどを通して、教育貢献の必要性和その方法などについてアドバイスし、企業の持っているノウハウを学校授業に繋げるためのプログラム作成なども手がけている。
石山 純恵	いしやま すみえ	(株)クリフ	地方銀行や総合病院での管理職研修などを行っています。講義をして「良かった」だけの研修ではなく見える研修、数値化する研修を企画実施しています。福島県を取り巻く状況で国際機関との会議の議事録作成や翻訳等を行っています。自らの起業で女性の雇用を創出し女性の生きがい作りに寄与していると思っています。今後も女性の活躍、女性の創業を支援していきたいと思っています。平成26年5月に、ノルウエー大使館、仙台市、仙台男女共同参画センター主催の東北の復興を担う女性リーダーノルウエー視察研修に福島県代表として参加する。
大宮 透	おおみや とおる	小布施町	<p>小布施町では、特に、行政と地域住民、地域外の住民(特に若者)などの様々なアクターを繋ぎ、新しい価値を創造するための活動を展開している。プロジェクトをベースとして、議論の場をつくり、多様な視点を持ち寄って、若者をターゲットにしたまちづくりプロジェクトを企画。</p> <p>2012年からは、全国から集まった200名の若者が日本の未来を語る場づくり「小布施若者会議」を企画運営するとともに、2013年には、ハーバード大学をはじめとする世界中の大学生とともに、高校生を対象としたサマーキャンプ「HLAB OBUSE」の企画運営をコーディネートしている。また、それらの取り組みを積極的に地域外に発信しながら、「若者が活躍できる町」としての小布施町のブランドづくりと、それを実現するための制度構築を行政と連携しながら推進している</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
鹿野 美弘	かの よしひろ	NPO法人 薬草木を育てて地域産業と観光資源を作る会	<p>地域の生活の質の向上のため漢方医薬学の知識、経験を用い地域活性化のために下記の3点から取り組んでいる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 荒廃しつつある田園、中山間地区を薬草木の植栽により再利用、活性化を進め、平成27年度は薬木サンシュユの植栽に関し、農水省・薬用産物等地域特産作物産地確立支援事業の助成を受け、中山間地区の篤農家10数名と継続中。 2. 医師。薬剤向けの漢方臨床基礎理論講座(薬証会・15回シリーズ)を全国80ヶ都市で開催したが、NPO法人開設後5年間で岡山、徳島、松山で開講している。 3. 漢方医薬学を大衆向けにし、平成26年以降、地域住民に無償の薬膳学校を開き薬膳学、薬膳素材学を講義、薬膳実習を行い健康的で楽しく豊かな生活の普及を進めている。一卒業生は薬膳食堂を開設した。
河合 克仁	かわい かつひと	株式会社アクティビスタ / 国立大学法人筑波大学	<p>・各地域の魅力の再定義×その地域だからこそできるソフト/ハードの整理とPR ・その地域の企業を巻き込んだU/Iターン採用と若者育成支援 実績(2015年7月～):</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地方の中小企業の魅力の言語化・見える化を行ったUターン/Iターン採用支援(北海道、青森、福島、長野、愛知、千葉等) ■産学連携の人材育成と人材採用支援 筑波大学にて地元企業への就業体験を含んだキャリアデザイン教育の授業を実施 ■10年後の未来を描くビジョン策定支援 中小ベンチャー企業の理念・ビジョン策定 ■大企業×ベンチャー企業×異業種×異年齢のカンファレンスの開催 参加企業数述べ200社以上、実施回数10回、参加企業の売上総和3兆円以上、従業員総数3万人以上(直近1年間)の経営者会議開催
岸川 政之	きしかわ まさゆき	百五銀行/皇學館大学/未来の大人応援プロジェクト	<p>三重県多気町にある相可高等学校食物調理科調理クラブが運営する高校生レストラン「まごの店」やその先輩が運営する惣菜とお弁当の店、(株)相可フードネット「せんばいの店」など、コミュニティビジネスの手法を取り入れた地域おこしに取り組む。これらの取り組みは、国土交通省ふるさと手づくり賞大賞、総務大臣優秀賞など多くの賞を受賞し、2011年5月からは「高校生レストラン」と題しテレビドラマ化もされ話題を呼んでいる。</p> <p>また、高校生などの若者(未来の大人)たちと地域ビジネス創出事業(Social Business Project、略称:SBP)にも取り組んでいる。SBPは、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうというもの。具体的には、自分たちのまちの魅力・地域資源(ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等)を知って地元愛が育ち、地域資源を生かしたビジネスを立ち上げ、自ら働く場を確保することで地域に残れる仕組みをつくっていくもの。高校生レストラン「まごの店」等を先進事例に、2013年4月に三重県立南伊勢高等学校南勢校舎で最初のSBPを立ち上げ、その後このような地域に根ざした取組が全国に広がっている。そして、SBP活動に取り組む高校生が集い研鑽する”全国高校生交流フェア”は、2017年から文部科学省の共済事業となっている。</p> <p>現在は地方の活性化をテーマに、全国各地で「まちづくり」、「商品開発」、「生き方・考え方のヒント」などをテーマにした講演やワークショップ」も多数開催するとともに、市町村、NPOなどのアドバイザーとしても活躍している。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
北尾 洋二	きたお ようじ	株式会社ザメディアジョン・リージョナル／大分県立芸術文化短期大学 情報コミュニケーション学科	<p>「地域のために、地域を越えて」及び「新卒採用で地方創生」をミッションとした、新しいタイプの「創職」サポート・「ジョブメーカー」として日々活動しています。メディアのアレンジメントから出版・広告代理・編集プロダクション、まちづくりコーディネーター・社会調査、ワークライフバランス、男女共同参画推進、障害者雇用支援、新卒採用支援に至るまで、地域活性化から企業活性化までをカバーします。「ご縁と感謝の経営」を軸にしなが、ら、「ひとつづくり まちづくり くづくり」をモットーに活動を展開しています。</p> <p>● 地域活性化と発展は「雇用・就職」から／学生、企業、地域社会の立場をしっかりと理解し、お互いの納得度を高める就職支援と企業の採用支援(採用ノウハウの提供、経営指導など)、そして地域コミュニティとしての場づくりを行なっています。(実績: 文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」、厚生労働省「地域人づくり事業」、島根県庁、山口県庁、大阪府大阪市、岡山県岡山市、山口県山口市・下関市・岩国市、島根県益田市など)</p> <p>● 地域資源の掘り起こしを「若者目線」で／アクティブラーニング(サービ斯拉ーニング)の手法を用いたフィールドワークで、地域の課題を若者目線で改善提案。「連携」という言葉の枠を越えた、地域づくりを展開しています。(実績: 文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」、厚生労働省「地域人づくり事業」、日本環境協会「いきものみつけファーム」及び「こどもエコクラブ」、各自治体「まちづくり講演会」、ソーシャルネットワークサービス(SNS／facebook、twitter、Instagramなど)を活用した情報発信事業及びイベント企画、SNSに関する利用実態調査、地域の魅力度調査、大分県竹田市・豊後高田市・姫島村、山口県山口市・下関市・宇部市、島根県江津市、高知県宿毛市、宮崎県串間市、山口銀行・山口フィナンシャルグループなど)</p> <p>● 地域の歴史をテーマとした研究活動、魅力発見及び研修事業展開／歴史街道・萩往還散策マップ実行委員会、夢街道ルネサンス、知覧研修、萩・松下村塾をテーマとした現地調査活動、月刊松下村塾・月刊高杉晋作・龍馬と長州等の歴史ムック発刊とプロモーション、日本風景街道などの調査研究及び産学連携のフィールドワークを実施しています。(実績: 文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」、鹿児島県南九州市、山口県周南市・萩市・山口市・防府市・下関市、宮崎県串間市など)</p>
久野 美和子	くの みわこ	電気通信大学	<p>グローバル経済・産業・社会の中で、日本や地域、個別の企業が生き残り、勝ち残っていくためには、大学や研究機関の優れた研究・技術成果を社会的価値に繋げていくことが極めて重要である。また、その方法としては、単独ではなく、多様な知識をもった人材や組織との連携・融合が不可欠の時代となっている。このため、プロデューサーの経験・ノウハウを活かし、1. 埼玉・千葉・茨城・群馬地域～東京(広域)の各大学や研究機関、支援機関と連携して、産学による共同研究開発～新事業創出のしくみづくり、個別支援を行っている。2. 特に超高齢化社会に突入している現在、ライフイノベーション(健康・医療・福祉・介護、食・農等)分野の共同研究～新商品開発・新事業創出が急務であり、重点的な取り組みを行っている。3. 日本の科学・技術の中心である「つくば地域」で、「科学・技術産業イニシアティブ」(グローバル・オープンイノベーション・プラットホームづくりを目指す、科学・技術、産業分野の有志の会)を立ち上げ、様々な分野の専門家によるセミナーやプロジェクトメイキング活動等を実施中。4. NP法人「イノベーション・ネットワーク」を有志で立ち上げ、若い・科学人材育成、「健康・食」の拠点作り等に注力。5. 地域活性化伝道師としても、1. ～3. に関わり、地域や個別企業からの相談に応じてプロデュース活動を行っている。</p>
小林 秀司	こばやし ひでし	株式会社シェアードバリュー・コーポレーション	<p>全国都道府県に出かけて人を大切に「いい会社」の視察や調査、発掘をしています。これまで企業訪問した数は558回(2017年1月20日現在)。年間70社近くの訪問活動を続けています。企業調査・発掘、研究成果啓蒙講演、企業での研修・コンサルティングが主業務。また、経済産業局や自治体、中小企業家同友会など行政や経営者団体からご依頼を受けて講演セミナーを開催しています。</p> <p>【講演・シンポジウム・セミナー活動実践例】「人を大切に経営」日本青年会議所愛知ブロック協議会シンポジウム・「真の企業経営とは? 地域に根ざし、愛される経営」四国経済産業局・「元気な社員がいる会社のつくり方 労使で築き活きた職場」栃木県小山労政事務所・「障がい者雇用が切り開く新たなフロンティア」高知県中小企業家同友会・「栃木でいちばん大切にしたい会社を目指そう!」栃木県中小企業家同友会・「島根県幹部候補向けマネジメントセミナー」島根県商工労働部など</p>
斉藤 俊幸	さいとう としゆき	イング総合計画株式会社	<p>2003年関東学院大学まちなか研究室追浜こみゆに亭開設に参加(2003年)、有明高専現代GP事業推進(文部科学省2005年)、全国水産高校生徒研究発表大会四国大会で高知海洋高校うるめプロジェクト優勝支援(2009年)、国際教養大学生による高校生向け英語合宿開催(秋田県由利本荘市、総務省地域力創造アドバイザー事業2010年)、千葉県立松尾高校スーパーグローバルハイスクール「地域から考えるグローバル・エイジング研究」(文部科学省2015年)、大阪府立能勢高校スーパーグローバルハイスクール「国際協力の現場で判断力と実践力を培うグローバル人材研究」(文部科学省2015年)、地域活性化センター土日集中セミナー「魅力化による高校の生き残り」と地域活性化」主任講師</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
佐野 綾子	さの あやこ	International COYA	International COYAは、地方の学校や企業とグローバルコミュニティをつなげます。COYAはグローバル人材の育成を目指す学校、企業、地方公共団体のための、国際教育プログラムの開発と提供を行っています。インターネットを活用したプログラムでは、海外の様々な分野で活躍する多様な国籍の人々が講師となり、それぞれの仕事の内容、人生経験、自国の文化等について、英語でお話しします。日本にいながら、参加者一人一人が、世界の多様な価値観に触れ、自分の新しい可能性に気づききっかけとなる講座の提供を目指します。詳しくはHP (http://internationalcoya.com)をご参照ください。
高橋 聡	たかはし さとる	カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社 公共サービス企画カンパニー	図書館を主軸とした、地域活性の核となる公共施設の企画開発・空間設計・運営を行っています。 年中無休・夜9時まで開館、書店やカフェの併設など民間事業と連携した公共施設を実現し、人口5万人の武雄市で、同図書館は1年間で92万人の来館者を迎えました。これは、リニューアル以前と比較すると360%の来館者数です。 知の拠点であると同時に賑わいを創出する公共施設として、まちのコミュニティとしての役割も担い、その町の方々によるイベントやワークショップも主催します。子どもからお年寄りまで多様な人が混ざり合う、地域活性化の起点となる「場」や「空間」づくりを展開しています。 全国では神奈川県海老名市、宮城県多賀城市において図書館運営。 岡山県高梁市で図書館運営に加え、観光案内業務を開始予定。 宮崎県延岡市では市民活動や待合を主とした市民の為の「場」を企画進行中。 山口県周南市では老朽化した駅ビルのリニューアルを企画進行中です。
田城 孝雄	たしろ たかお	放送大学	平成9年に国立大学医学部付属病院として初めての総合医療連携部門(医療社会福祉部)を立ち上げました。さらに地域包括ケアの先進モデルである広島県尾道市の取組みの解析を行い、多くの知見を得ました。東京都保健医療計画策定協議会改定部会委員や、世田谷区地域保健福祉審議会での議論を通じ、地域における保健・医療・福祉計画の立案に関与しました。また、板橋区乳がんの地域連携/パス検討委員会委員、足立区糖尿病対策協議会アドバイザー、横須賀市医師会医療連携協議会アドバイザー、さらに豊島区在宅医療推進協議会会長、文京区在宅医療推進協議会部会長など、行政と三師会などの協議会の運営に関わり、いろいろな立場の方々の意見を尊重しながら、地域の保健・医療・介護・福祉のネットワーク作りに取り組んでいます。また、全国で招請され講演を行っております。 内閣官房地域活性化統合本部 地域再生推進委員会 委員長として、地域再生を推進する方策の検討に取り組んでいます。
林 賢司	はやし けんじ	(株)FoundingBase	地域に新たな活動を起こす時、そこには「新たなアイデア」と「実現に向けて活動を牽引する人材」が必要となる。また、ただ活動を展開するだけではなく、住民との調整を行ったり、役場と議論して目的を整理する必要もある。私たちは「地域おこし協力隊制度」を活用し、都心部から優秀な大学生・若手社会人を地方に送り込み、現地で彼らの活動の支援する仕組みを作った。これにより、若者が「新たなアイデア」を作り、かつその若者が中心となって役場や住民と一緒に活動を展開していくことができています。これまでに、カリフォルニア大学パークレー校・東京大学大学院・慶應義塾大学大学院など出た学生・若手社会人『述べ56人』が、島根県津和野町・岡山県和気町・岡山県吉備中央町・鳥取県に入り、主に教育・観光・農業・林業の分野で、地域住民と一緒にあったまちづくり活動を行っている。 ■ これまで支援してきた活動(例) ・津和野高校魅力化事業(島根県津和野町) http://tsuwano.ed.jp/ ・津和野型自伐林業推進事業(島根県津和野町) http://tsuwano-ringyo.net/ ・地産地消推進事業(岡山県吉備中央町) http://www.kibichuomarche.com/ ・地域情報発信事業(島根県津和野町) http://tsmoyo.jp/

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
平原 秀則	ひらはら ひでのり	平原建設株式会社	<p>例えば沖縄の慰霊地に奉納された千羽鶴。実はその最終処分方法は自治体の大きな悩みです。そこで、千羽鶴を再生紙として甦らせ、ノートや名刺の台紙などに製品化して慰霊地の記念品として販売。これを発展途上国の子どものための教育に役立てられています。</p> <p>また、千羽鶴の解体、仕分け作業を障害福祉施設の利用者をお願いし、工賃の向上を担っております。さらには、沖縄や広島への修学旅行の平和学習プログラムとして、千羽鶴の解体・仕分け作業のボランティア活動を組み入れるなど、人と人をつなぎ、地域とつながる方法を考えてきました。また被災地支援では、北海道等で産業廃棄物に過ぎないホタテの貝殻を、牡蠣養殖の採苗用に被災地の被災障害者施設で加工し、広島等の養殖地に販売する取り組みを進めており、被災地の障害者の就労支援を通じて、人と人とのつながり、人と地域とのつながりを再生することを目指しています。</p> <p>直近の事例としては、平成24年8月、北海道の北広島市で、障害者支援施設を営む地元社会福祉法人の地域貢献をコンセプトに、北海道と広島の酒造協会の協力の下、銘酒の試飲会のイベント「北の酒祭り」を開催し、地域住民の絆づくり、地域活性化のお手伝いをさせていただきました。</p>
福留 強	ふくどめ つよし	聖徳大学 / NPO法人全国生涯学習まちづくり協会	<p>①大学と地域の連携によるまちづくりの連携 ②高齢社会の活性化の提案、「創年運動」の提唱 ③「子ほめ条例」のまちの推進、まち全体で子どもの健全育成 ④NPO法人全国生涯学習まちづくり協会での活動、まちづくりイベント、研修の企画、実施、地域の調査など、行政職員の研修 ⑤観光でまちづくり、着地型観光と指導者養成を実施 ⑥日本・韓国生涯学習まちづくり国際フォーラムの実施</p>
藤木 徳彦	ふじき のりひこ	オーベルジュ・エスポワール/日本ジビエ振興協会	<p>野生鳥獣を地域の資源として活用するために、商品力をつけること、販売の方法をアドバイスする。調理に携わるプロとして、魅力ある精肉の商品づくり、調理が難しい野生鳥獣をおいしく活用できる調理方法の講習、指導、野生鳥獣と地域の特産品を組み合わせた加工品の開発指導を行う。できあがった商品は地域のみならず、大消費地にプロモーションを行い、滞りがちな流通を開く。「信州ジビエ」の例では、長野県内のジビエを使い、長野県内の福祉施設で加工品を製造し、JR東日本エリアのエキナカの飲食店において開発した商品でのメニュー提案を行い、ジビエの加工品の流通を実現した。東京駅でのジビエ弁当販売や、都内レストランを借りての地域フェアなどで地域のセールスを行う。</p>
三角 幸三	みすみ こうぞう	NPO法人チェンジライフ熊本 / 宇城市教育委員会	<p>○家庭教育コミュニケーションプログラムの作成(熊本:親の学び、長崎:ファミリープログラム)及びファシリテーターの育成 ○組織活性化、地域づくりのためのワークショップ活動 ○マトリックス、フレームを使ったワークショップ活動 ○親同士、親子、子ども同士のコミュニケーションプログラムの提供 ○商店街活性化、地域の絆づくり・活性化、及び公民館活動の活性化 ○地域の実情、背景、問題目的に添ったプログラムのデザイン</p>
御園 慎一郎	みその しんいちろう	大阪大学/地域活性学会	<p>・自治省入省後、地方税財政制度の企画立案に参画。また、福井県、愛知県、茨城県において県政運営に関わるとともに県下市町村の行財政運営にも関与する。制度立案過程の構造と組織運営の提言を学ぶ</p> <p>・サッカープレーヤーであったことなどによる日本サッカー界との縁で2002FIFAワールドカップ組織委員会に勤務。アジアで初めて、初めての共同開催というワールドカップの成功に寄与。スポーツの持つ一体感や形成力を実感するとともにサポーターとの距離感の取り方の重要性や国際的事業における交渉力の大切さを痛感。</p> <p>・内閣官房地域再生本部において地域社会の活力を構築するための国家組織をあげてのシステムを構築。その一環として地域再生法を制定。全国に地域再生の輪を広げる。 ・地域再生のため大学との連携システムを考案。「地域再生システム論」として30を上回る大学における地域活性化講座開設に寄与。自らも複数の大学で教鞭もとる。</p> <p>・地域活性化をともに語りともに進めるための集団としての「地域活性学会」の設立を提案。発足にも貢献。現在副会長として学会活動の進展、とりわけ学会スポーツ振興部会長として2020東京オリンピックパラリンピックのホストタウン運動を契機とした地域づくりの支援活動を積極的に展開中。</p> <p>・厚生労働省において介護保険や生活保護などを担当。介護予防を地域で支える事業の一環としてJリーグのチームによる地域の健康作り活動の展開を提唱し実現に。その延長線上の活動として医療介護のサービスの質の向上や究極の地域づくりである「地域包括ケアシステムの構築」に際して欠かすことのできないヘルスデータをクラウド上で管理することを目的とするNPO法人の活動を展開中。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
宮城 治男	みやぎ はるお	特定非営利活動法人ETIC.(エティック)	<p>(1)起業家型リーダー育成プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業家、リーダーを志す若者をベンチャー・中小企業の現場にマッチングする「アントレプレナー・インターンシップ・プログラム」 ・ETIC.イノベーターズ・スクール(起業家講演会) <p>(2)ソーシャル・アントレプレナー輩出プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会起業家の事業基盤確立、ベンチャー企業とのマッチングを支援する「イノベーション・グラント」 ・社会起業を志す若者のビジネスプランコンテスト「STYLE -Social venturecompetition」 ・社会起業塾イニシアティブ(NEC社会起業塾、花王社会起業塾、横浜社会起業塾) ・東海若手起業塾 ・個別プロジェクト経営相談会 <p>(3)チャレンジ・プロデューサー輩出プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の若者と、挑戦する中小企業 ・地場産業等を繋げる「チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト」 ・地域の社会起業家、起業家型リーダーの発掘、育成 <p>(4)大学や行政との地域協働プログラム開発</p> <p>(5)震災復興リーダー支援プロジェクト</p>
矢原 正治	やはら しょうじ	熊本有用植物研究所	<p>私は、地域には多くの「宝」が眠っているが、日常生活の中で当たり前となっており、地元の方は気づかないことが多いため、地元以外の専門家が、現地に入り、聞き取り調査を実施すると、その地域の多くの「眠れる宝」を見いだすことができると思っている。また、1次に、2次、3次を足して、6次産業と言われるが、情報関係が入っていないため「6次産業+情報産業」を進める。地域にある、モノと人の宝を探し、まず、薬用植物、有用植物にフォーカスした、地域おこしを主とし、環境関係も絡め考える</p>
山形 正道	やまがた まさみち	山形薬用植物園 / 鹿児島県立福山高等学校 他4校	<p>鹿児島県民の森・自然薬草の森において協力員として、また大学で習得した知識や漢方薬・生薬認定薬剤師として見学の方々には薬草教室で薬草の講話と薬草園を散策しながら薬草を手にとって実感してもらい、職員の方々には薬草の栽培などの指導・助言を行いました。霧島市保健センターの要請で市民の方に薬草の話や健康についての講話を行っています。平成15年、自宅内の約300㎡に薬草園を開設、約450種の薬草木を植栽し、見学無料で一般公開しています。2年前から始良地区薬剤師会からの要請で薬学生5年次における長期実務実習(薬局・病院においてそれぞれ11週が義務づけられている)のカリキュラムの漢方製剤の単位として薬草見学1時間、漢方講義1.5時間行っております。これから先、漢方薬の原料である生薬の一大生産国の中国からの輸入が難しくなります。国内生産を模索する時期に来ていると思います。そこで、国内生産と自給率の向上のために生産者の方々に指導・助言等の支援ができれば幸いです。</p>
横山 幸司	よこやま こうじ	国立大学法人 滋賀大学社会連携研究センター	<p>私は大きくは次の4つの方法によって地域の活性化・課題解決に取り組んでいます。1つ目に、国や地方自治体の各種行政委員会等への委員等としての参画です。一般行政から教育行政まで、各種行政計画や方針の策定等に携わっています。2つ目は、自治体や団体が実施される研修会等の講師です。自治体職員向けや、企業向けの専門的な研修から、一般市民向けの講演までTPOに応じた講演を実施しています。3つ目は、自治体や団体が実施される研究会やワークショップ、フォーラム等の座長、コーディネーター、ファシリテーター、メンターとしての参画です。4つ目は、自らが「学」の役割を踏まえて事業を主催あるいは共催するものです。「淡海公民連携研究フォーラム」や「先人学研究フォーラム」など産官学金のネットワークの構築、「滋賀大学地域活性化プランナー学び直し塾」や「近江八幡市未来づくりキャンパス」などの地域人材育成システムの企画・運営により、地域経済の活性化、地域人材の育成に取り組んでいます。</p>